

はじめに

科学技術振興事業団の戦略的基礎研究推進事業の一部として、平成9年度に「地球変動のメカニズム」研究領域が設けられました。

人間活動の地球環境変動に及ぼす影響の重大性についての危惧が高まって以来、その変動予測が強く求められるようになりましたが、気圏・水圏・地圏・生物圏から成る地球システムの変動機構の解明なしに人間活動による地球環境変動の健全な予測研究の将来展望は拓けないでしょう。

本研究領域では、観測・計測手法の開発、実験的・理論的研究、数値モデリングなど種々のアプローチで地球変動の複雑な機構を解きほぐす手がかりを与え、突破口を開くような独創的な研究、さらに、その研究成果が地球変動の解明と予測についての構想の具体化や新たな科学技術の展開など、大きな波及効果をもたらすであろう先導的研究が実施されています。平成9年度から11年度までの3年間にわたり、広く研究課題を公募し、応募いただいた多数の提案課題のなかから全部で13課題が採択されました。

本日は、平成10年度に採択された4研究課題について、5年計画の中間年、折り返し点にあたり、(1)これまでに得られた研究成果、(2)これまでの研究進捗状況を含む今後の研究実施計画等について、それぞれ研究代表者から中間報告をしていただきます。また、研究代表者の判断により、必要に応じて1～2名の範囲内で研究分担者からも補足説明をいただくことになっています。尚、限られた時間内の報告には意を尽くせないこともあり、ポスターを終日掲示しますので、それらをも活用して、理解を深めていただければ幸いです。

本シンポジウムは一般公開であり、広く関心のある参加者の皆様から、御意見、御質問、忌憚のない御批判をいただき、今後の研究の発展に役立てればと願っています。

平成13年12月18日
「地球変動のメカニズム」研究統括
浅井 富雄